

2026.5.8(金)

スクアードストレイト 自転車交通安全教室



スクアードストレイトとは

「恐怖を直視させる」という意味で、スタントを通じて事故の衝撃、恐ろしさを視覚的に理解することができる。「ヒヤリ・ハッと」する経験をとおして交通安全意識を高め、自転車走行ルール・マナーの向上を図ることを目的に実施している。



スタントマン
調布警察署



スマホ×



並列×



止まれ



傘さし×



一人乗り×



ヘッドフォン×



時停止無視×



死角がある



ルールを守ることは自分を守ること



1つ1つのルール違反は大したことはないと思っても、積み重なると大きな事故につながる!



サンキュー事故

交差点で右折待ちをしているときに、対向車が道を譲ってくれたので右折したところ、対向車の脇からすり抜けてきたバイクと衝突した事故などが代表的な事例

自転車は歩道を走行してもよいが、自転車通行可の標識がある歩道。運転者が13歳未満、70歳以上、身体障害者などで車道が危険な場合、工事や交通量などで車道左側の通行が著しく困難な場合



事故を起こしてしまった。ではどうすればよかったのでしょうか

右側通行×



ぶたはしゃべる



- ×クイズ
- 友人と横に並んで走行してはいけない ○
- 自転車に乗りながらスマホを操作してよい ×
- 傘さし運転はしてもよい ×
- 2人乗りはしてもよい ×
- ヘルメットは子どもだけでなく、大人もかぶる ○(努力義務)
- 自転車を運転して車や人にぶつかっても、子どもは責任を問われない ×



内輪差による事故

交差点などでの左折や右折は、本当にヒヤッとする場面が多いですよ。内輪差の事故は知っていて意識するかどうかでかなり防げる

改めて交通安全を意識してください